

有宵会だより

第70号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

八月・九月の運勢

気学では申八月

八月八日(立秋)節入り

7	3	5
6	8	1
2	4	9

破ア
天道

九月八月(白露)節入り
気学では酉九月

6	2	4
5	7	9
1	3	8

破ア
天道



一 白水星の人の運勢

八月筮一雷沢帰妹の六五
九月筮一乾为天の九一

八月は暑さで体力低下回復を図る。出費後のシワ寄せで緊縮方針、家庭の行事は習慣通りに温かい愛情を示す。対人面で意見や気持が合わず心が痛む。夏風邪に用心、皮膚炎、腰痛は甘く見ない。

九月は活気が出るので気合を入れる。仕事は軽く見ないで正確に仕上げ対人面は嫌な人脈出るので注意。それに勝る家族の絆あり。体調の安定と貯金や保険など有益なり。

二 黒土星の人の運勢

八月筮一火山旅の初六
九月筮一天山遯の初六

好事に魔多しで何事も油断せず、日々小事にこだわらない。本業優先で安全策でいく、旨い話には乗らない。親子・夫婦間に対話ややかに家事修理は再チェックで持久足腰、血圧、胃腸に対処。

三 碧木星の人の運勢

八月筮一艮為山の六五
九月筮一地風升の六五

九月は公私共に見通しをハッキリさせて吉。依頼事に快く応じて結果は良好、書類事や記録保管が大切、愛情表現が弱く大胆に表わす。小さな悩みは水流して健康維持。

八月は活動意欲、家庭や親戚関係は平穏無事。母系の交際広く気遣う。久し振りの再会、忘れてた用事済ませて、小さな夢が叶うとき。頭痛、心臓、視力など対処し中庸を守る。九月は坎宮でも小事吉新たな希望がわく。何事も初心にかえり素直に雑事に追われても手抜き禁物。どこに出るにも急がば回れ方針。金銭は手堅く。風邪気管、疲れ対策。

四 緑木星の人の運勢

八月筮一雷風恒の九四
九月筮一沢地萃の九五

八月の運氣は攻めより

五 黄土星の人の運勢

八月筮一水天需の初九
九月筮一天山遯の上九

八月は目標を定めて漸進、気負わず柔軟さがあれば小事は叶う。夏休みは吉方取りが有益でパワー強める。周囲の雑音を気にしない。自分の才能を強く出す好機。書類処理と金銭即決させて無難に。九月は蒔いた種は必ず実るもの、交渉事など正攻法が吉。暑中見舞いで疎遠の人から朗報あり。吉事のおとは油断せず目を配る。失言用心。疲れと熱、視力と腰痛対策。

八月は目標を定めて漸進、気負わず柔軟さがあれば小事は叶う。夏休みは吉方取りが有益でパワー強める。周囲の雑音を気にしない。自分の才能を強く出す好機。書類処理と金銭即決させて無難に。九月は蒔いた種は必ず実るもの、交渉事など正攻法が吉。暑中見舞いで疎遠の人から朗報あり。吉事のおとは油断せず目を配る。失言用心。疲れと熱、視力と腰痛対策。

六 白金星の人の運勢

八月筮一兌為沢の上六
九月筮一沢火革の九五

八月は少し自由で伸び伸びするので満悦、公私共に自分ペースで急ぐと響をかいやすい。仕事は新規開拓をして将来に繋げる。家庭内に喜び事祝う。物品や金運抑える。足腰、胃腸、疲労回復を。九月は大胆にいくのでなく慎重に。以外に状況が変るので驚く。何事も臨機応変に処理し意地張らず。散財注意。薬より体力づくり夏バテに用心。

七 赤金星の人の運勢

八月筮一天山遯の九五
九月筮一天風姤の上六

八月は多忙さが残り落着かない。相手を立てれば厄介事の話がつく。個人の問題は荷が重いで甘くみない。旧交を温め再会する嬉しさ。住居や家事など改善する時期なり金銭の手違いに用心。養生食、気分転換が一番。九月になると見通しが決まり順調、家庭では女性が実力を発揮し二役を兼ねる。渡る世間に鬼はなし今後の道開く。実家親戚問題は長引く。頭痛血圧、気管、過労に休養。

八月は多忙さが残り落着かない。相手を立てれば厄介事の話がつく。個人の問題は荷が重いで甘くみない。旧交を温め再会する嬉しさ。住居や家事など改善する時期なり金銭の手違いに用心。養生食、気分転換が一番。九月になると見通しが決まり順調、家庭では女性が実力を発揮し二役を兼ねる。渡る世間に鬼はなし今後の道開く。実家親戚問題は長引く。頭痛血圧、気管、過労に休養。

八 白土星の人の運勢

八月筮一火地晋の上九
九月筮一火風鼎の六五

八月は少し自由で伸び伸びするので満悦、公私共に自分ペースで急ぐと響をかいやすい。仕事は新規開拓をして将来に繋げる。家庭内に喜び事祝う。物品や金運抑える。足腰、胃腸、疲労回復を。九月は大胆にいくのでなく慎重に。以外に状況が変るので驚く。何事も臨機応変に処理し意地張らず。散財注意。薬より体力づくり夏バテに用心。

九 紫火星の人の運勢

八月筮一雷地豫の九四
九月筮一風沢中孚の上九

八月は多忙さが残り落着かない。相手を立てれば厄介事の話がつく。個人の問題は荷が重いで甘くみない。旧交を温め再会する嬉しさ。住居や家事など改善する時期なり金銭の手違いに用心。養生食、気分転換が一番。九月になると見通しが決まり順調、家庭では女性が実力を発揮し二役を兼ねる。渡る世間に鬼はなし今後の道開く。実家親戚問題は長引く。頭痛血圧、気管、過労に休養。

八月は多忙さが残り落着かない。相手を立てれば厄介事の話がつく。個人の問題は荷が重いで甘くみない。旧交を温め再会する嬉しさ。住居や家事など改善する時期なり金銭の手違いに用心。養生食、気分転換が一番。九月になると見通しが決まり順調、家庭では女性が実力を発揮し二役を兼ねる。渡る世間に鬼はなし今後の道開く。実家親戚問題は長引く。頭痛血圧、気管、過労に休養。

八月は多忙さが残り落着かない。相手を立てれば厄介事の話がつく。個人の問題は荷が重いで甘くみない。旧交を温め再会する嬉しさ。住居や家事など改善する時期なり金銭の手違いに用心。養生食、気分転換が一番。九月になると見通しが決まり順調、家庭では女性が実力を発揮し二役を兼ねる。渡る世間に鬼はなし今後の道開く。実家親戚問題は長引く。頭痛血圧、気管、過労に休養。

五月有宵会報告

半田 晴詠

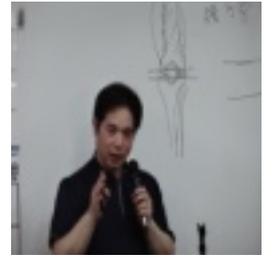
平成二十七年五月三十日（土）足立勤労福祉会館ブルミエ於て、NPO 法人岳易館・有宵会例会が開催されました。会場が初めて十七時からの例会になりました。佐藤宗眩先生司会のもと、第一部は柔道整復師・おん摩マツサージ・指圧師・鍼灸師として臨床経験三十余年の田中文之先生の「筋肉に定年制はない〜自己調整法」第一回腰・股関節・膝他下半身編の実技をともなつた講演。第二部は福田有宵先生の「気学年盤・月盤からの健康診断」のご講演でした。



第一部「筋肉に定年制はない〜自己調整法」

田中文之先生

一、骨格の説明
全員にプリントを配布して下さり、脊柱側面図から頸椎・胸椎・腰椎・仙骨・尾骨の中から今回は下半身ですので、上体を支える役割のある腰椎・股関節・仙腸関節・膝関節のご説明の後に症例を取り上げて頂きました。



ポイントです。実例では痛みが酷いので三ヶ月後に手術予定だった方が、ご主人に先立たれ淋しいので犬を飼って、その世話に集中するうちに痛みを忘れ、手術をしなくて済んだということがありました。

二、良く聞く症例
ヘルニア〜腰椎椎間板五個の椎骨からなり上半身を支える脊椎のなかで、重い荷物を持つ時に荷重を受け又可動性も大きいので負担がかかり、椎間板に亀裂が入り髄核が洩れ神経組織を圧迫して痛みを生じる病ですが、90%はストレスからくるものが多く、診察を受けヘルニアですと診断されると、自分は病気と思ひ込みから指令がでて痛みを強く感じてしまうので、他に集中できる事をして痛みを忘れることが

ポイントです。実例では痛みが酷いので三ヶ月後に手術予定だった方が、ご主人に先立たれ淋しいので犬を飼って、その世話に集中するうちに痛みを忘れ、手術をしなくて済んだということがありました。

三、特徴的な筋肉のこり
股関節は沢山の筋肉によつて支えられています

から、筋肉をほぐすことが良い方法で、俗にいう貧乏ゆすりをする事、これを田中先生が健康バイブレーションと名付けました。エコノミー症候群にも効果があり、この振動は脳に刺激を与え、低周波よりも深層部にまで刺激を与えるので股関節に疲労が溜まらなくなり良い治療の一つです。

膝の痛み
膝関節（お皿）は膝蓋骨を乗せていて筋肉が潰され痛みを発生します。治療法は大腿筋を鍛えること。簡単な鍛え方としてバスタブに腰をかけ足を水を蹴る、これを毎日百回すると大腿部の筋肉が盛り上がり、靭帯を鍛えることで筋肉が発達するので、膝の皿より太ももの高い人ほど足が丈夫です是非実行してみてください。実例として、八十歳代の料亭の女将さんが膝が痛く正座ができなくなり、ある病院で診察を受けたところ「膝が変形しているのだから無理です」と引退を進められましたが、田中先生の診断で、痛みをとる方

法は大腿筋を鍛えれば良いから、このバスタブ水蹴り法を進め半年間実行した結果正座ができるようになった。筋肉は何歳になつても鍛えられることが実証されたそうです。

こむら（腓）返り
筋肉の痙攣から起こり、筋肉疲労や冷えが原因で筋肉が異常な収縮を起こす為と考えられます。こむら返りが起きた時は、足の指を上方に引つ張ると痛みが鎮まります。又長時間の正座は膝に負担がかかりますが、三十分位は足の疲れがとれます。準備運動は怪我予防、整理運動は疲労予防で、この疲労予防を怠りますと肉離れを起こしますので必ず行つてください。デスクワークも腰に負担がかかりますので整理運動として、仰向けに寝て腰の下に座布団を二枚敷き一分間寝ることで疲労予防になります。

質疑応答
質問〜二十年前頃に骨折したことが原因で痛みがでることはありませんか。田中先生〜その骨折が原因で痛みがでることはなく、脳が覚えていることがストレスとなり症状を感じてしまつたのでしょつ。忘れることが良く、むしろ痛くても使っているうちに治ります。人間の身体（筋肉）は、いじめればいじめるほど強くなります。

人間の身体を大きく分けると内臓・骨格・筋肉からなり、内臓は筋肉を作り筋肉は骨格を補助し骨格は内臓を守っています。では衰えはどこからくるか、大腿筋が弱くなると膝が痛み、足が弱くなり前屈みの姿勢になつて肺（気）と心臓（血液）の流れが悪くなり老けこみます。姿勢の良い人は若々しいです。筋肉に定年はありません、自分の意志で鍛えてください。日本には気功治療の看板が多くありますが、本場中国の中医学でも本場に難しく、気功を使つての治療を出来る人は無に等しいと言われています。

実技をともなつた質疑応答
現在痛みのある四名の方に協力して頂き、田中先生から治療と予防のポイントをご指導して頂きました。

一、ギックリ腰

一週間前に発症し、現在サポーターをして痛みをこらえています。重症になりますか。

診察し、腹ばいになり両足の踵を合わせ、足の長さを測定。足の長さの違いや股関節の症状からの診断で、ギックリ腰ではなく右の股関節の疲労からの痛み、腸骨を刺激し挺子の応用を用いて股関節とお尻にかけ痛み持ち良

い程度の重みをかけ試みた結果、やはり股関節に疲労が溜まっていたのが原因で、胡坐や横座り又足を組む時は同じ姿勢を続けないで、足を時々変えることで改善されます。

田中先生の治療後、立ち上がった時に痛みが軽くなったので重症になりました。せんといつことでした。



二、背中のコリ

背骨の調整が大切。方法は仰向けに寝て背中の真ん中にビールビン（小ビン）を立てに置きビールビンは底を肩の方に向

ける。この姿勢を五分位することで予防になります。

三、頸椎のコリ

姿勢が前に弯曲しやすいため、方法は首の下にビールビンを横に置く。その上に敷き頭頂部が下がるようにして五分位寝ると楽になります。

四、腰痛

ビールビンを腰に当て三分くらい姿勢を保つことで楽になり腰の疲れがとれます。



五、不眠症

踵を百回たたたく。椅子に座ったり胡坐をかいたりして自分でたたたくといいです。

六、足裏の疲れ

ビールビンの上に乗る、足裏のツボ（土踏まず）を刺激するととれます。人間は四つ足動物だったので、手の甲が骨盤の役をしていました。手の甲

の手根骨を押しして痛い人は腰が弱いです。首は中指、人差し指と薬指は肩などの上肢、拇指と小指は下肢で足の裏のツボと同様です。手を握って中指と薬指が当たった所（労宮）を刺激すると自律神経の働きが良くなります。

七、パネ指

それぞれの指の下（丘の少し下）に蠟をたらしたり、お灸で刺激する方法や第二関節にテープを貼り固定して動かさないようにすると痛みがとれます。朝方に指先が強張るのは寝ている時に身体が冷えるからで、指先を伸ばすようにマッサージすると良いでしょう。

八、腰痛

軽い腰痛は、姿勢の悪さからの痛みが多いので股関節からお尻にかけて貧乏ゆすり（健康バイブレーション）で刺激すると楽になります。歩き方にも注意してください。

立位での姿勢は爪先と踵に7対3の割合で体重をかけるように、ヒールの高さも爪先より踵が3cm高いのが理想です。縄跳びをすると土踏まずがで

き、足に縦のアーチができて足に負担がかかりません。指は横のアーチがあるといいので足の指でタオルなどを引き寄せる運動をすると良いでしょう。

九、外反母趾

指でタオルを掴む運動をすると悪化せず、足の疲れも少なくなります。

十、理想の足とは

足に筋肉がつくこと、足で何でも掴む練習をすると、爪先に体重がかかるようになります。足のストレッチは、前面の筋肉は足を伸ばして座り手で足の爪先を掴む運動をすることです。

十一、変形性関節痛

足の下に紙や布などを敷き、それを足で前後に動かす運動が良いでしょう。

次々と質問がありましたが、最後に筋肉は疲れると血行が悪くなるので、疲れを残さないようにスポーツの後や長時間同じ姿勢でいた後は、整理運動（疲労運動）をし血行を良くすることが結構

（けつこう）なことなのです。と笑いの中で時間になりました。

田中先生は、会話がともお上手で皆の心を温くしてください、問診だけで痛みが和らぐような治療と予防のご指導でした。長時間でしたのに、あつという間のご講演に感じられました。誠に有難うございました。

第二部「気学年盤月盤からの健康診断」

福田有宵先生



占いの分野では、気学の年盤月盤から自然や身体の変調を判断できます。又易占での推察もできます。最近の自然変動を易占で判断してみます。

一、箱根山の噴火

水沢節の五爻。節はほど良く収まるの意があり、外卦坎は水、内卦沢は沢を表し水蒸気が出る象で、火と土（溶岩）は表れていないので大きな噴火はないと判断できます。地

元の商店街等は人も入れないで経営に影響しますから、地震学者や火山学者に予想を求めています。が、大自然相手では正確な予想ができず様子を見ながら終息を待っている状態です。易学での判断を信用して頂ければ幸いです。が、まだまだ世間では取り入れて頂けません。

二、口伊良部島噴火

易占中筮にて、雷沢歸妹から地沢臨に変わり、歸妹からは小規模の噴火はあるが大噴火は無く、再噴火も少いと思われるので一ヶ月位で一応収まり、島民は帰島できると判断できます。

「年盤月盤からの体質と病気」

病気を判断する場合は、現在の体調と生活環境又職業から、内臓と骨格を中心に見ます。体質からは慢性疾患を判断しますが、乳幼児のみ日時を主として判断し、成人は成長と共に変化するので日時を主とする見方はしません。六月の月盤は一白中宮で、中央の一白が周囲の星を支配し、一白の湿と熱（裏の離）が現れ

やすく、どの星が特に影響されるかをみますと、暗剣殺と月破が付く六白が要注意で、腎臓・泌尿器系・婦人科又腰などに反応します。腰は良・震・坎宮に同会すると影響されますから、今年の六白は年盤でも良宮に同会していますので、腰・膝・肩にきます。又腰から下の位置に同会している四緑と二黒も注意です。他に時間の流れから発症する病気もあります。体質をみるのが大切で、例えば、六白は冷え症（他に一白と八白）が原因となりま

す。他の星が冷えるのは、内臓の異常によるものと考えられます。人体を五行の配置からみて、火星はお腹の上部とし九紫火星の冷えは心臓疾患から、特に今年には七赤被同会で肺からと判断できます。先程の田中先生のご講演で、筋肉は骨格を調整し肺と心臓との関連性のお話がありました。田中先生の分野と気学・易学を合わせ研究すると良い判断ができるようになると思います。

ら時間になつてしましました。次回を楽しみにしております。よろしくお願い申し上げます。有難うございました。

半田 晴詠

高野山が開山して1200年目にあたります！

皆様に参拝の思いを綴っていたいただきました。



秘地・秘仏を尋ねて

福田 有宵

開創一二〇〇年を迎えた高野山です。弘法大師空海八三五年に入定して今でも奥の院の御廟にお姿が見られる信じられています。毎日午前六時と一〇時半に食事を届ける『生身供』の儀式が厳かに続いていることに、悠久たる歴史を現わし大師信仰の最たるものです。

高野山を極楽とする浄土信仰があり、弥勒信仰においては釈迦入滅から

五六億七千万年後に弥勒菩薩が再来、人々を救うために高野山に示現されるという聖地思想が厳として脈打っているのです。

私が高野山との仏縁をいただいたのは五十年前の大晦日、宿坊の宝亀院様にご厄介になり、年始のお参りをする予定でした。その当時、東京で出会った阿闍梨久安師は、四国霊場三十一番高知県室戸の竹林寺で永年布教しておられ、その後東京に滞在したころにご指導を得ました。二拝三拝し大晦日にお供をした次第でしたが、何年振りかの大雪に見舞われ足下の雪は一尺位の深さがあつた、ズボンの膝下はずぶ濡れ革靴の中は雪が入り水の冷たさが痛さに変わり震えながらの歩みでした。夜十一時頃、人に会わず深深い闇の中を僧二人と私の三人の足音だけが響くだけ、周囲の木々は闇に包まれていたが、時々雪明かりが射す景色でした。弘法大師御廟の御廟橋を渡り、読経は大気の中に静かに伝わっていく様子は上声が雪中に吸い込まれていくようだった。

この世からあの世へいく、往来する道程かもしれません。下半身から寒さに震えながらの年越しでした。懐かしい思い出の記録となりました。

翌年の昭和四一年四月に四国遍路の機会を得て、四月十二日から二十六日まで道中十四日間でした。四国へ渡るのは宇高連絡船に乗り高松下船、琴参バスに集合した二十余名、北海道・東京・関西兵庫から参集。私の二十七歳の時で興味津津、朝七時にバスの中で浅草のご住職の導師と心経を唱す。七日間は寺の本堂に一同休む雑居寝、大軒や寝返りなど気にするのは数回だけで段々と慣れていくものでした。残りは町場の木賃宿に泊る日は手足は伸び伸びとなる嬉しさ道中は誰とでも仲良く信仰心を結ぶ順打ちでした。第一番の霊山寺から、第八十八番大窪寺まで順調に結願しました。

吉四枚、平一枚、凶八枚の結果で一番大吉が二枚あり、なかなか面白い結果で、おみくじ研究のために参考にになりました。ここまでは回顧談、これから高野山開創一二〇〇です。四月五日は(日)に日本占術協会大阪支部の講演会で『易の神髄』のテーマで理論と実践について講演後の夜は大川先生、清水さんと歓談。

四月六日(月)高野山へ参拝、単身の身軽さがあり心ゆくまで秘仏拜観、お尋ねし語りかけて参りました。初めに奥の院の御廟にお参りをしました。山上の聖地として知られている所、御廟の前で座り一人静かに御廟を心ゆくまで見つめて来ました。一の橋から御廟までの参道二kmを往復、心経唱えながら歩く、歴史と遺跡の道を汗を流して苅萱堂まで歩く。バスで金剛峯寺着。秘仏ご開帳の薬師如来像の参拝は回廊側から拝観、四間ぐら

眼のお姿にvari化身されたのではないかと異様に感じ入りました。廊下に正座して瞑目、その後も相変わらず七眼が浮かび上がる。七眼のお顔を消すことはできませんでした。

私が正座で礼拝しているので、次々と参拝者は立たず座礼式で拜礼していきます。足が痺れるまで端座した次第でした。さて七眼とは何かと調べてみると七見、七佛、七星、七情、七福など易数の七は少陽の数となる。七の字は大字典で九二種があり答えは探し出せず今でも半解です。昼食を忘れてしまいたの霊宝館へ、館内はどの部屋も数人の見学者だけで不思議な静寂感が付いて来るので一人だけの世界に埋没していくようでした。不動明王像、愛染明王像の畏怖が宿り驚ろくばかり、この熱気冷める間がなく壇上伽藍に向けて歩む。金堂のご本尊薬師如来像に拝顔、ここでも驚くことが生じたのは尊像のお顔が六眼となつて私に迫ってくるので、しばらく目を外し又再見しても

六眼が現れます。

六は易の卦では老陰の数であり、六情、六親、六礼など、六の名称字は一七〇余と数多い語彙にも驚くものでした。興奮冷めやらず境内を散策、祈願立柱の文言を記念に記録しておきたいと、金剛峯寺一柱、金堂三柱を記す。高々と天空を突くように立脚していました。

天空の聖地高野山へ

大川法祥

開創千二百年を迎えた高野山は、霊宝館に於いて貴重な高野山の名宝を展示、金堂・金剛峯寺では御本尊を特別公開する等、記念行事と共に、四月・五月は、記念大法会も行われ、全国から弘法大師を慕う人々が聖山を訪れ、毎日の法会に開創以来の壮大な祈りの光景が広がっています。



平成十六年に『紀伊山地の霊場と参詣道』として世界遺産に登録された高野山は、二十七年の今年、開創千二百年記念の各行事と相俟って、海外からの観光客も含め大変な人出となり異様な活気に溢れています。

水無月の終り、露の晴間を見て、私も聖山を訪れました。過去、数回に渡り、参詣した折々の思い出を懐かしみつ車中へ。南海電鉄高野線の終着駅「極楽橋駅」で下車、ケーブルカーに乗り換えて高野山駅に到着。数年振りに高野山駅に降り立てば、清冽な山の靈気に抱合され、同化した、聖地へといざなわれる思いがしました。先ずは、何をあいても入定留身されている弘法大師様の御許へ、と逸る心を押さえ乍ら駅前からバスに乗り奥の院へと参りました。

樹齡千年を超える杉木立に囲まれた奥の院には二十万基を超す墓石や供養塔が立っています。

清浄な地に靈魂が帰ると言う山中他界信仰や、空海の傍らで眠りたい、という大師信仰、高野山を極楽とする浄土信仰が影響していると思われています。又、釈迦入滅から五十六億七千万年後に弥勒菩薩が現われ人々を救うという、中世に広まった弥勒信仰もあり、弥勒菩薩が高野山で説法を開くとも考えられました。全ての原点は、アニミズムから・・・ではないでしょうか？

過去百年以上続いた戦国時代、織田信長と明智光秀。武田信玄と上杉謙信・・・等々、敵味方に関わらず墓は総ての尊い命を受け入れるという空海が大切にされた「怨親（オンシン）平等」の教えに、長年の私の疑問は氷解されました。高野山の信仰の中心である奥の院に入定（八三五年）された弘法大師は、今も瞑想されていると信じられ、大師の食事「生身供」（シヨウシング）が毎日午前六時と、十時

半に運ばれています。

千二百年もの間、絶える事なく続けられているこの映像を以前TVで観た時の、深い尊厳を思い出しました。早朝の冬の御山は、白雪に覆われ、又雨の日も風の日も、白いマスクをした二人の僧に担がれて「生身供」は玉川の清流に架かる御廟橋を渡りお供えされます。その仏教的な所作、その神秘的な崇高な迄の伝統美に日本人の精神性の流れを感じました。

杉木立の奥まりに大師が「入定留身」されている御廟がひっそりと静まり凜として、そこは精気漂うパワースポットです。その真只中に暫し佇み瞑想。深い祈りを捧げました。山内の東部に位置する奥之院を後に、壇上伽藍の在る西部へと参りました。真言密教の高野山は、八枚の花弁の形をした周囲の高い峰々に囲まれ、さながら仏の蓮華座の相を示し、その中心に高く立つ朱塗りの根本大塔は聖山のシンボルであり、自然の造形美です。心を統一することによつ

て仏と同化し、共振する為の哲学と実践がこの聖山で栄える理由がよく解ります。



に入っていくと八つの峰に囲まれた鉢を臥せた様な姿の平原に至り、林立している巨大な木の一本に「三鉢」が掛っているのを見て、この地こそが探し求めていた「禅足の霊山」である事を悟り感涙にむせんだ。との説話です。

千二百年の昔、唐、長安の都清龍寺に於て、密教の総てを伝授された大師は、はるか日本を望む明州（ミンシュウ）の浜に立ち、「密教を広めるのに最適の地を示し給え」との祈りをこめて空中に投げた「三鉢杵（さんこしよ）」が紫雲に乗り日本へと飛び去り、この高野山の御影堂（大師の御影が安置されている）の前の枝に掛かっていたといわれがあります。

「今昔物語集」に金剛峰寺建立にまつわる説話が載せられていて、この「三鉢」の落下地を尋ねて歩かれた大師の姿が伝承して書かれています。不思議な山人（高野の明神）との出会い、実は山の王であった山人から「この領地を差し上げよう」と告げられ、山の中

この三鉢の松が御影堂の前にどっしりと根をおろして、風格を示し、人々から崇められる姿をまのあたりにし、此の聖地を示された「飛行三鉢杵」の伝承に改めて深い感慨を覚えつつ、金堂へと歩を進めます。

一山の総本堂として、重要な法会で営まれる金堂は弘仁十年（899）弘法大師が創建されたましたが、何度も焼失、現在の堂は七度目で昭和七年（1932）に再建されたものです。御本尊の薬師如来様に、今日頂いた御縁と健やかに過せる日々感謝の手を合わせました。次は少し離れた霊宝館へ。千二百年の歴史を持つ高野山に残る国宝、重文等貴重な文化財を保管し、

公開する等、博物館の役割を果しています。

今年の春「アペノハルカス美術館」でその一部の至宝六十件が展示披露されました。都から離れ、世俗の混乱から隔絶されていた高野山には、都に近い寺院から戦乱を避けて多くの宝物が持ち込まれた為、「山の正倉院」と呼ばれる程の貴重な宝物が集りました。これ等は、かけがえの無い文化遺産として末永く受け継がれていく事でしょう。

それぞれに込められた思い、緻密な美しさ、奥深さに限りなき唯心の精神が感じられます。 霊宝館に入ると正面に六百五十年を経た奥の院の古木直径二百十五米もの高野杉の断面が飾られてあり、その左横に、若き日の空海の美しくも慈悲深い坐像が。少し左に身を傾け、左手に数珠、右手に三鈷杵をいただき、「よつ参られたのつ...」とのお声が聞こえた様で思わず息をのみ、今年の春、「アペノハルカス美術館」で拝観した時の衝撃が蘇りました。何度も引き返し拝する私を見て、会場の係員の方

が笑い乍ら「本当にこの像は魅力がありますね...」

と同調し、色々話が弾んだ事を...。又お逢いできた、との喜びと深い安らぎを感じ乍ら「奥の部屋へと歩を進めます。密教の世界は、大日如来が頂天、中心におられ、如来こそが「永遠の真理」そのものだと説かれていきます。非常にむずかしく簡単には見えない為秘密になつてはいるのだと、空海によつて説明されています。

大日如来の化身といわれる明王の憤怒相は色々な意味を含んでいます。全ては仏の慈悲心からくる表題だと理解すれば拝む心も自然とやわらぎますが快慶作の四天王立像は薄暗い展示室に一人佇んでいると本当に恐いです。 「快慶作 孔雀明王像」「梵字懸仏(ボンジカケボトケ)(アーク)」、その他 数々の秘宝をゆつくりと拝観し、次は高野山真言宗総本山金剛峯寺へ。全国四千に及ぶ末寺の宗務を司っている寺には狩野探幽の「梅月流水」の襖絵や、桃山時代の作風を色濃く残す「群鶴図」

の襖絵が広間の三方を囲み風格を示していました。又「柳の間」は、関白秀次自刃の間として、豊臣秀吉に追放され、この山に來て自刃を命ぜられた秀次の悲哀が四季の柳の風情に込められ描かれており、巡り來た諸々の歴史が凝縮され、漂う靈氣に圧倒されました。

拝観した後、新別殿の広大な広間で茶菓の接待を頂き、出口に向う廊下から眺められる「蟠龍庭」(名庭としては最大の庭。雲海の中で雌雄一對の龍が奥殿を守っている様に表現されています)を鑑賞しつつ満ち足りた思いで帰途につきました。 午後からは雨との予報を気にし乍らも、お寺巡りには障のなく何とか持ちこたえた空も家路に着く頃には小雨模様となりました。

終日しつぱりと密教の世界に浸れた幸せ、その上移動中の道すがら、散策中の親切は地元の方に声を掛けられ、「近道を教えてあげる」とわざわざ同伴して下さり地元ならではの深い話を聞き乍ら、深緑の山道を歩けた事等、不思議な恵みに満ちた小

さな祈りの旅でした。 一合掌ー 果てしなき 祈りは満ちて 入定の御廟仰ぎつ とけこみてゆく

一水無月の終りに詠むー



高野山開創二二〇〇年 小松 輝子

「そこは山上の大宇宙 古の薫りと千年の祈りに 出会う」

誌上の皆様もご存知のことと思いますが、今年高野山開創二二〇〇年になります。 歴史に名を残すほど、大きな御開帳となるので是非とも参詣したいと思いが、日増しに膨らんで來ました。しかし四月から五月の特別期間中には縁がなく、一ヶ月遅れの六月中旬にお参りする事が出来ました。 初日は高野山の奥の院からの参拝でした。案内の方のご挨拶があり、「皆さん、今日は六月二十一日、お大師様の日で

す」とお話しを聞き、このツアーに参加された方々から歓声が上がったので

「私たちはお大師様に導かれたのね...」 喜びの声が一杯になり、改めて感謝です。そして手を合わせ奥の院の参道へと進みました。 道すがら両側の墓標は歴史上の人々の供養塔であること。供養塔については五輪塔が林立してました。仏教では宇宙を形成する物質は「空・風・火・水・地」の五大元素から成ると説かれていてこの五つの構成要素を、宝珠・半月・円・方形の意味を表しています。



梵字(サンスクリット)では 文字が刻まれていると五輪塔の説明がありましたが、奥の院参道には多くの五輪塔系の墓碑が数多く見受けられ拝見しました。奥に進むにつれて祈りの気を受け、この場でお祈りをしたい・身体全体に感応を受け、この場にいることの不思議さ

と感謝の気持ちで胸が一杯になるような一瞬でした、

奥の院から街中に行くすがらの各店が「今日はお大師様の日です」と張り紙があり、町全体がお大師さまを讃え祈り上げているのを感じました。 一日の余韻を受けその夜は宿坊にご厄介になりました。

二日目、朝のお勤めに参加した後は、清々しい思いがしました。 午前のコースは金剛峯寺から、壇上伽藍エリアの拝観でしたが、その中で驚いた所は西塔です。 西塔では一週限定での御開帳があり、塔の中の壁々は霞がかかったような色彩が浮かんでいる様子に何とも言えず、じんわりとした感覚が寄つてきました。昔から伝わる色合いは鮮やかさで今日この時間に視られること、大日如来さまを囲むように天井からは天女の舞い、壁に花々が咲き柱の絵柄といい今にも塔内に出現するよつでした。 日程の最後は弘法大師様の母公ゆかりの慈尊院でした。昔は女人禁制高野山といわれた中で、女

人高野と呼ばれ親しまれてきたようです。

ツアーのせいか駆け足の日程でしたが、もう一度機会をつくり時間をかけて参拝したいと思いましたが、そして普段の生活に戻り、充実した日々を過せることを心からお祈りしました。

「有難や、高野の山の岩陰に、大師はいまだ、在(おわ)しまするなる」弘法大師第一番御詠歌より。 合掌



駆け足で巡った

世界遺産

(高野山、春日大社、法隆寺)

金原 太郎

2015年5月8日～5月9日にかけて、旅行会社の「法隆寺・長谷寺・春日大社・高野山 秘宝秘仏・特別公開スペシャル2日間」というツアーで、初めて高野山を訪問することができました。このツアーの訪問先のうち3か所が世界遺産で、しかも

普段はお目にかかれない秘宝秘仏を拝むことができる、何とも贅沢なツアーでした。また、同行させて頂いたメンバーは、伊藤先生、高田先生、千葉先生と、普段なかなかお話しができない方と、普段一緒に易学、人相の勉強をご一緒させて頂いている清水さんとの計5名の旅行です。この楽しい旅行ですが、ちよっとあわただしい旅行を紹介させて頂きます。

出発の朝は、9時前集合羽田空港への現地集合です。東京は朝から天気がよく、空港ロビーも明るく、気分よく出発することができました。初日は春日大社、長谷寺、法隆寺の訪問です。そのうち行つたことのあるのは中学生の修学旅行での法隆寺のみだったので、新鮮な気持ちで旅行を楽しめることができました。

【春日大社】春日大社の敷地内には鹿があり、奈良にいる実感がわきます。ゴールデンウィークの後半とはいえ、観光客が非常に多く感じます。本殿に入ると他の観光客に混じり流れに沿って順序よく参拝を進めていきます。最後は御本殿を囲む回廊の外にある御蓋山浮雲峰遥拝所への参拝です。コー

スから外れているせいか、参拝される方も少なく御本殿よりはゆっくり、静かに参拝することができました。ここは、御本殿が創建されるまえから崇められてきた場所であり、禁足地だけあってとても神秘的な場所でした。添乗員が、「ここは行って損はない」と言うだけの価値があるところでした。

【長谷寺】初めての参拝です。山門を入ると上に続く長い登廊が目に入ります。階段の一段一段が低く、普段、駅の階段などに慣れているとちよっと歩きづらなのですが、人的には一段一段上がるたびに心が洗われるような感覚が心地よかったです。階段を上った左手に国宝に指定されている本堂が見えてきます。本堂も木造の大きな建造物で見応えのあるものなのですが、個人的には登廊がお気に入りでした。パンフレットをみると大晦日の夜には登廊の両側に灯さぞかし幻想的だろうかと

【法隆寺】南大門から敷地内に入り、五重の塔がある廻廊を目の前に右側を進み、東大門を経由して、夢殿まで歩きます。夢殿までは、アスファルトでなく石畳と砂利石で、両脇は土壁が長く続く道です。高いビルなど近代的な建物は、まったく見えず、塀の外側には青空があるだけです。きつと飛鳥時代からほとんど変わっていない風景なのかと思います。観光グループも我々だけなので、のんびり歩くことができました。

とばかりの視線が痛かったのが残念でした。

【高野山】この二日目のツアーは今回の旅行の目玉の高野山で、非常に楽しみにしていました。弘法大師による開創、真言宗の総本山ということで、「厳か」「静か」「ひっそり」「自然との一体感」といった神秘的な雰囲気も期待で訪れました。着いてみると、一本のメイン道路の両側に大小のお寺、お土産物屋さん、お食事処などひしめき合うとても賑やかなところでした。特に、開創1200年、50年に一度のご本尊のご開帳とあって、多くの参拝者がいたせいかもしれません。



自分としては高野山を訪れることができただけでも大満足なのですが、ご本尊を拝むこともできませんでした。ただ、人だかりの後ろのほうから思いっきり

背伸びをしないと見えな

いきました。何とか拝めたお顔はとても優しげだったのが印象的でした。

高野山奥の院までの案内は高お土産物屋さんの従業員の方にして頂きました。当日は、とても混んでいるので、別なツアーのお客さん達、合計40-50名の合同での案内でした。奥の院への道のりをガイドを頂きながら進むのですが、有名な企業の建立による慰霊碑や歴史上の人物の供養塔など、それを一つ一つみるだけでも興味深いところです。金剛峰寺、金堂、と主な場所はどこも混雑しており、奥の院も大勢の参拝の方がいたのですが、他の場所と異なり押し合いへし合うこともなく、落ち着いた雰囲気の中で参拝ができました。

なお、高野山訪問には参拝以外にもうひとつの目的がありました。私は会社の出張関係で日本全国各地の訪問する機会があつたのですが、和歌山県だけは足を踏み入れる機会がありませんでした。

今回、このように高野山と和歌山県に訪問することができたので念願の47都道府県全周制覇(踏破?)の目的を達成することもできました。

【バスの中】

移動時間中は旅の疲れをとるために居眠りをするか、清水さんと他愛のない話をしていたのですが、バス旅行の場合、添乗員さんの観光ガイドも楽しかったです。特に移動時間が長いので

ガイドの自身は、大阪市内の歴史的建造物の話から、一瞬見える高速道路の壁面からのぞくユニバーサルスタジオジャパン、遠くにうつすらと見えるアベノハルカス(日本で一番高いビル)のちよつとした豆知識、山の上に立っている電波塔、当日の晩御飯の案内の話と、話題が豊富でした。話のネタの豊富さから、聞いている人を飽きさせない話術、など見習う点も多かったです。

最後に、50年に一度の特異な年のその貴重なタイミングで、先生方とともに訪れることができたの

もまた貴重な経験でした。ただ、大阪市内を起点とした移動のため、観光よりも移動時間のほうが長い旅行でした。次回、また機会があれば、静にゆっくりと参拝ができればと思います。



初めての高野山 参詣 太田正子



『高野山開創1200年のご開帳』ときいて是非行ってみたいと思い、お教室の金子さんを誘い某旅行会社のツアーに参加して四月二十九日に行きました。

ガイドさんから「今日の金堂拝観は時間制限があるので行かれる方は先に金堂を見て下さい」と説明があったので金堂に向かいます。高野町は標高900m以上に位置するためか参道はちよつと冷たい清涼とした空気に包まれて、身も心も引き締

まり、良い気を受けたように感じました。

金堂にもたくさんの方でしたが、ご本尊様の前にすわり手を合わせる事ができました。次に根本大塔に向かいました。ここは一步入ってみると、

さらびやかな曼荼羅に圧倒されます。中央に金色の大日如来様、四方に金剛界四仏 周囲に16本の太い柱には全て朱色で真言八祖像と花鳥が描かれています。

弘法大師空海が高野山を開創され真言密教の根本道場として着手したのがこの建物。真言密教のシンボルでもあるそつです。根本大塔をあとにして金剛峰寺へと向かいます。途中で大会堂というところに3、4人の若い修行僧さん達がいました。金子さんがお僧さん達に質問しました。「皆さん同じに黒色の衣を着ているけどお一人だけ黒い地模様が入っているのはどうしてなの?」と聞いたところ、「位(くらい)によつて家紋が入ったり色々違っています」と答えてくれたのですが、なんとスツキリとさわやかな答え方。私ときたら「あ

らつ!こんなに若く好青年達 お年頃 ニキビが出てもおかしくないのに 皆さんお肌がツルリとしてとつてもきれい。やはり日頃の修業とお食事の違いからなのだろうか」などと思つてしまいました。

弘法大師像が安置されている金剛峯寺です。主殿に入ると、次々と現れるすばらしい華麗な襖絵に魅せられて回廊を進んでいくと弘法大師像の前に着きました。私の近所の氏神様の境内にもお大師様が三体奉られており、日頃参詣しているのでやつと御本尊にお会いすることができました。再び回廊を進んでいくと大

きな台所があり、2,000人分のご飯が炊けるといふ巨大な「三石釜」。台所を守る神棚があり、弘法大師の神仏習合のお教への通りなのでしょう。私達は奥の院まで巡るツアーではなかつたので数時間しか滞在できずに残念な思いは残りましたが、今秋、十月一日〜十一月一日まで。再びご開帳が開催されるので、又行け

たらと思いません。 『奈良、和歌山-高野山の旅路』 清水真人

この度、ご縁があり平成27年5月8日金曜日に出発し、2日間の日程で奈良及び和歌山の高野山にお参りすることができました。工程としては飛行機とバスの旅で、あわただしい中にも充実した貴重な時間を体験することができました。

初日は、朝早くに羽田空港に集合し、伊丹空港に10時過ぎに到着。すぐにバスに乗つて奈良へ移動しました。訪問したのは次の三ヶ所。 春日大社(世界遺産) 長谷寺 法隆寺(世界遺産)

の春日大社は、今年第六十次式年造替で、20年に一度執り行われる社殿の修築大事業で本殿を新しくするために工事中でした。正遷宮は平成28年11月になります。ここは、約1300年前に日本の国の安泰と国民の幸せを願ひ、御蓋山のふもとに壮麗な社殿を造営し、四柱の尊い神々をお祀り申し上げたのが始まりだそつです。

また世界遺産に登録された30万坪の境内は自然と共存し、国宝の春日造りの御本殿に神々様いらつしやいます。ここで感じたのは、本殿の東にある山『御蓋山』に一番近いところ、なんともいいがたいくらい不思議な力が発せられているのが感じる事ができました。ここに一時間程度の滞在でしたがすべてを見る事ができず、もつとゆっくり滞在したいと思ひ感じた、神社でした。

長谷寺は、西国三十三所巡礼の第八番目。真言宗豊山派総本山になります。ここはあじさいがとっても有名なお寺です。また、駐車場からは長い長い階段を上ります。本殿の中には、国指定重要文化財『十一面観世音菩薩立像』がおられます。室町時代 天文七年(1538年)、像高101.8cm。10m以上もあり大変貴重で見ごたえもあり、特別拝観させていただき、お会いできて良かったと感じました。ぜひお伺いしたときは本尊の御足に触れて下さい。 法隆寺は、日本で最初の世界文化遺産です。今

回は、法隆寺東院伽藍内夢殿にある国宝の救世観音菩薩立像が特別公開されていきました。閉館時間が迫る中、あわただしく中門の中にある金堂、五重塔を拝観し、大講堂として、ご朱印をいただきに東室の聖霊院へ行きましました。ここも大変広い敷地で、じっくり拝観できず心残りのため、また次回ゆっくり訪問したいと思います。これです。夕方17時日も暮れ始めバスで大阪へ移動となりました。

翌朝は、高野山へバス移動、大阪から約2時間30分。高野山では以下の順番でした。

金剛峰寺（持仏間御本尊開帳）・金堂（御本尊特別開帳）

奥之院

壇上伽藍（金堂・御本尊特別開帳）・伽藍中門（再建）

金剛峰寺では、持仏間御本尊が特別開帳されました。ここに安置される御本尊の弘法大師坐像は平成11年に行われた平成の大修理落慶大法会の御開帳以来、16年ぶりの御開帳になります。この仏

像の前でお参りすることができませんでした。ただ、人が多すぎでゆっくりお参りすることは叶いませんでした。しかし、私自身が次回ゆっくり訪問させて頂きたいという想いで、今回のお導き（この1200年という節目に高野山を訪問できたこと）を通じて弘法大師様がいつでもいらつしやいというように解釈させて頂きました。

奥之院 ここでは、雨がぱらぱらと降り始め、傘をさしたり、たたんだりしながら石畳をあるいて奥の院へ向かいました。奥之院は、高野山の信仰の中心であり、弘法大師さまが御入定されている聖地。一の橋から御廟まで約2キロメートルの道のりには、おおよそ20万基を超える諸大名の墓石や、祈念碑、慰霊碑の数々が樹齢千年に及ぶ杉木立の中に立ち並んでいます。御廟端のある川の向こうは、なんともいえない別世界。神聖な場所であり、何か守られている場所、そんな感じがするエリアです。心を落ち着

かせ奥之院でお参りしました。そこから左へ向かい右手の奥、奥之院の裏手に弘法大師様（お大師さまともいう）が今もなお修行中の霊窟に六十二歳の承和二年（835年）三月二十一日、寅の刻を御入定のときと決め、のちのちのことを弟子たちにのべつくされました。御入定の一週間前から御住房中院（こじゅうぼうちゅういん）の一室を浄め、一切の穀物をたち、身体を香水で浄めて結跏趺坐（けっかふざ）し、手に大日如来の定印を結び、弥勒菩薩の三昧に入られました。

御入定から五十日目に、お弟子たちはお大師さま御自身がお定めになった、奥之院の霊窟にその御定身を納められました。お大師さまは、天長九年（832年）の万灯・万華会の願文に「虚空尽き、衆生尽き、涅槃尽きなば、我が願いも尽きん」と記されています。つまり、「この宇宙の生きとし生けるものすべてが解脱をえて仏となり、涅槃（ねはん）を求めるものがいなくなつたとき、私の願

いは終る」との大誓願を立てられたのでした。

私たちに説明してください。たガイドさん曰く、旧暦の三月二十一日は、5月9日にあたります。と今日は大変ありがたい日だといわれました。ご利益があるかどうかはお楽しみです。この日程にお大師さまのお導きと、ご縁が重なりお参りできたのかもしれない。

壇上伽藍の金堂（御本尊特別開帳）では、この御本尊は過去に御開帳された記録が残っておりません。1200年の歴史の中で、初めての公開という貴重な歴史的瞬間に当ります。一生に一度の出会い。これも一期一会なのかも知れません。

さらに、伽藍中門（再建）では、持国天、多聞天、広目天、增長天が新しく安置されておりました。新しくこんなに大きな仏像を始めて目の当たりにし、それぞれ異なる力強さと輝きが放たれておりました。

慌しいなかでの2日間でしたが、めぐってみるとあつという間で初日の晴天の青空と、2日目の雨・霧雨の中の高野山は、心が洗われたような気がしました。

この度、ご一緒させていただきました伊藤先生、高田先生、千葉先生、金原先生、私自身がとても勉強になり、貴重な経験をさせて頂きました。本当にありがとうございます。

一部引用：高野山真言宗 総本山金剛峯寺 HPより

『高野への墓参り』

私は京都に実家があり子供のとき青春時代など平和のうちに過ごしました。特に母の思い出が深



く、子供の頃から三度の食事は手作り、子供服も手作りでした。外食や駄菓子など食べたらかんよ！と母親のペースでなかなか厳しい躰を受けました。京都人の母らしく信仰心が厚く、また暦のことや土用の日取りなどずいぶん聞かされたものです。

父は広島出身、慈父でしたが謹厳一途でした。奉職中から高野山に墓所を願ひ、求めた次第でした。今はご両親を供養して、次男は米国生活を中心に教鞭を取り、そこで快活なエルビーさんを妻にしましたが、毎年エルビーさんは米国から遠く高野山へ墓参りに来ますが、なかなか出来ないことなので感心していません。中之橋霊園は年中清潔に管理されたいへん清浄です。墓に高野槇を供え、お花は上げないようです。関東から高野山は遠いところですがこの縁を大事にしていきたいと思う昨今です。

中山教室の橋本さんからお話を聞きました。

合掌
福田

『女人 高野 六人』

福田 ゆみ



新宿教室の私の姉たち（杉本幸子さん、鹿谷仁美さん、川又早苗さん、池田昌栄子さん、岩崎由紀子さん）5人、女人6人での高野山詣でに行くことになりました。岩崎さんが手早くツアー申し込みを手配。

『朝一番に行く高野山開創一二〇〇年御開帳、慈尊院御開帳と女人高野の宝生寺二日間』
長いタイトル名のツアーです。

日程は5月13日・14日の二日間、工程を追いながら書かせていただきます。

5月13日の行程
東京から新幹線で名古屋まで、長屋から近鉄に乗り換え名張まで、名張からバスにて宝生寺、慈尊院、時間があり丹生都比売神社へ。

5月13日、朝7時に東京駅に集合。私は晴れ女降っていても、あまり濡

れないのが口上です。6人の中に、雨女さんは遠慮して晴れました。

新幹線に乗り、女6人が共に座る事のできないルール。そこでくじ引きです。阿弥陀や、とにかく乗り換えたりする都度6人でくじ引きで、席を決定。くじ引きでうまくローテーションして同じ人との組み合わせがなくとも楽しい道のりでした。名張からバス移動し奈良県宝生寺へ。昔は女性に対して社寺、霊場、祭場の中には女人禁制として女性の参拝が許されなかつたが、女性も参拝が許される社寺で、女人高野の名で宝生寺は親しまれてきたお寺です。境内は静かな時が流れ、周りに自然を感じ、心穏やかに落ち着いた庭内でした。宝生寺からバス移動して奈良県から和歌山県に入り慈尊院へ。大師様のお母様が入滅して弥勒菩薩様に化身した女人高野のお寺ということに女性の信仰が厚く、おっぱい寺という別名があり、おっぱいが、ぶら下がっているの、皆でさわりました。絵馬にもおっぱいが描かれていました。

慈尊院は御開帳の弥勒菩薩様は二十一年に一度、今回は高野山一二〇〇年を記念しての御開帳なので拝見することができて快適でした。お寺の後方に高い石階段があり上ると丹生官省符神社があります。神と仏、神道と仏教の神仏習合、大師様の宗教観の表れとのこと。この高い石段の途中に町石があり、一町は一〇九m。高野山大塔まで一〇八町、180町x109m約20kmの道のり。この町石から高野山町石道となり。道もユネスコ世界遺産に登録されています。慈尊院は高野山参詣の玄関口です。慈尊院には大師様のお母様がいたので大師様は月に九度片道20kmの道を尋ねられたこと。この土地の地名はそこから九度山と呼ばれています。慈尊院参拝後ツアーでは珍しく時間があり、丹生都比売神社へも参拝しました。紀国一宮の丹生の丹は赤色の顔料の鉱物、鉱脈がある場所が丹生と呼ばれるそうです。赤い太鼓橋がとも印象深い神社で周りをみると平坦な土地にあります。大師様の高野山

開創に際しては、重要な神様がお祀りされています。高野山へは黒と白の犬を連れた狩場明神が高野山へ導き、丹生明神、地主神が土地を授けた。高野山は山ではなく盆地で空から見れば蓮の花が咲いたような土地だそうです。一日目の観光は終り夕食は名物の柿の葉ずし、私は好物なのでうれしく美味しく堪能しました。明日は高野山、宿へ入り、その日の夜タイムング良くNHKで、高野山特集があり6人全員集合して観てその後飲みながら、ちよつと静かな女子会でした。

5月14日も行程

5月14日、朝6時30分朝食を取りバスにて高野山へ。奥の院からのお参りです。ここから若い男性ガイドさんが付き、話の乗りが良く、気遣いの良い仕事振りでした。聞いてきたいけど聞けない、高野山のお墓代を聞いてみたい、東京の人はお金の事聞きにくい、

関西人は聞くそうです。座布団一枚80万円とのことでした。奥の院一の橋を入ると企業墓石があり、コーヒーカーフ、車、口ケツトなど企業の製造物が墓石となっていました。樹齢何百年もの杉がまっすぐにそびえ、武将や庶民の墓碑が二十万基並び、高野山信仰の凄さを感じます。

奥の院まで行くのに、一の橋、中の橋、御廟橋の橋があります。中の橋は三途の川を表わしその先は死の世界に入ること。御廟橋には川がありませんが、川の中に卒塔婆が立ちあの世の川の雰囲気十分伝わってきます。御廟橋を渡り燈籠堂へ、沢山の燈籠に火がともり幻想的な雰囲気、灯っている火が命の炎のよう別世界にいるようです。

高野山。大師様のお側にと言うのが願いだっただです。6人でお経を唱え合掌。

奥の院、の弘法大師御廟やつと来ることができました。大師様信仰の中心聖陵、この御廟で祈れば必ず応えてくださると言われています。奥の院の建物の裏手で、皆熱心に手を合わせました。大師様はお寺の裏側のここに入定され今も修行されているとのこと、いろいろな先人達の墓、燈籠堂等、大師様のお側へお側へと寄りこが本当のお側ようです。一二〇〇年間一日二回のお食事が運ばれ、年に一度入定した日に衣服も届けられるそうです。ツアーなのでゆつくりする事が出来ないのが残念ですが、皆で手を合わせました。バスまでの移動途中、ピツカピツカの金色のカード型お守、限定品とのこと。この言葉に弱い私、私だけではなく、6人全員、限定お守りを求め、バスまで戻りました。奥の院を後にして金剛峯寺へ。

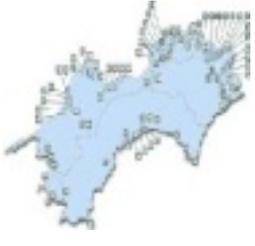
金剛峯寺は、高野山真言宗三千六百ヶ寺、信徒一千万の総本山の名称。ま

るで日本昔話の様な四季の花や鳥の部屋があり、足を止めてしまったのは柳の間、柳の木に雪が積もりリアルに冬の空気を感じてしまう、豊臣秀次自刃の間と知りこの冷めたい空気を納得しました。私が今迄見た障壁画では一番だと思えます。お庭は枯山水で石は龍を表わし白い砂は波紋が見事でした。金剛峯寺のお台所では一度に二千人分の米を炊くことができる大釜があり、かつて大勢の僧のお食事を作っていたのです。

壇上伽藍へ、根本大塔には大きな胎蔵界大日如来様が中央に黄金色に鎮座して、その周りの柱の極彩色の仏様をじっくりと拝見しました。自分の守り本尊様なので、思い深く合掌しました。金堂では、薬師如来が、御開帳されていました。健康が一番なので薬師如来様にも手を合わせ後になりました。六角経蔵があり、一回転すれば、一切経を一通り読誦した功德を得る、自分達だけでは動かず。知らない人達と力併せ回すことができました。功德を得た所で、

雲行き怪しくなり、バスの集合時間ともなりまして。とても運良く、バスに乗る前はポツポツ程度でしたが、乗った後夕立状態が雨が降りました。名張の駅に着いた時には、雨も上がり東京への帰路お弁当の夕食を新幹線の中で食べ、一泊二日の女人六人高野山を終えました。神仏はご縁なので行きたくても、行けないこともありますので、今回は女人六人高野山、新宿教室の姉たちと、ご一緒させていただき有難うございます。帰宅後にこうして記させていたたくと、あそこも行きたかったなと沢山あり、またご縁を得て参拝が再びできますように。

六人と共に合掌



四国遍路

土田 芳翠
自分を見つめなおす旅、先祖供養の旅として一度は巡って見たいと思う方が多いのではないかと。

れがお参りの遍路です。同行二人。主人の定年を機に二人で四国遍路の旅に出ています。今年で主人は十二回目、私は四回回らせて頂きました。・・・健康・時間・お金の許す限り続けたいと念じています。

四国霊場はお大師様、つまり弘法大師が若き日に修行した場と言われている。その足跡をお参りすることを「お遍路」といいます。高野山にお参りで結願出来たことで、毎日、健康で夫婦二人三脚で力を合わせ生かされている幸せなど沢山の発見を得ることが出来、人と上手に付き合いたいと思えばこそ時に、背伸び・見栄を張りお世辞を言い誰かを傷つけ、そんなことはどうでもいい事であり、ありのままの自分で等身大の私の素直に生きることが私らしく健康で、皆さんのかわりを大事にしながらいつも般若心経・十善戒を唱えるときに自分が反省させられます。十善戒 私たちの生活の中で、守らなければならぬ十の教えが書かれています。「十善戒」は、

守らなければならぬ規則と言う意味もあります。が、「何々しよう」という自分で宣言する意味もあります。十の教えを守ることによって、私たちの心を清め、仏様の世界に導いてくれる教えなのです。

- 不殺生 むやみに生き物を殺さない
 - 不偷盗 盗みをしな
 - 不邪淫 男女の道を外さない
 - 不妄語 嘘をつかない
 - 不綺語 心にもない綺麗なことを言わない
 - 不悪口 悪口を言わない
 - 不両舌 二枚舌を使わない
 - 不憍貧 欲ばらない
 - 不瞋恚 恨むことをしない
 - 不邪見 間違った考えをしない
- その土地の魅力、個性あふれる霊場、料理や景観、温泉などを楽しみながら「癒しの旅」「自分探しの旅」自分にあつた遍路の旅をしてみませんか。終わってみると、人それぞれに遍路・・・また絶景等に背中を押され遍路に気持ち誘われていて自分を感じます。最近、書き始めた日記に、私は孫の健やかな成長を祈りつつ、不憍貧の日々を

と書き、精進する毎日です。



高野山の聖地へ

伊藤璃香

五月八日・九日の聖地ツアー。一行は千葉一理様・高田玲照様・金原太郎様・清水允冬様、それに私を加えての五名、八日朝九時羽田空港で機上の人となる。初日のコースは春日大社・長谷寺・法隆寺の超ビッグ三連発。春日大社・・・藤原氏の氏神。祭神の内には、太玉命（ふとたまのみこと）同様 占いの祖とされる天児屋根命（あめのこやねのみこと）も。国宝ご本殿特別公開、磐座（いわくら）初公開。長谷寺・・・天武天皇に発祥、本尊の十一面観音には天照大御神の本地としての信仰も篤い。法隆寺・・・聖徳太子鎮魂の寺とも言われる世界最古の木造建築。薬師如来・夢違観音・百済観音等々、古代史・美術品の

宝庫。いずれも由緒深い一社二寺だが、往古への想いに浸る余裕とてない慌ただしい一日となった。二日目、開創千二百年を迎える世界遺産高野山へ。

霊場高野山は真言密教の道場として開かれ、今年4月2日から五十日間、壇上伽藍・金堂・御本像の特別開帳・金剛峯寺や奥の院めぐりなど、興趣は尽きない。高野山には、開祖弘法大師空海への入定信仰が深く根づいている。承和二年三月二十一日（旧暦）、六十二歳で御入定に際し、その肉身を世に留め、生きて衆生に救いの手を差し伸べておられるという信仰。大師は奥の院で永遠の瞑想に入っているとされる。ありがたや 高野の山の岩陰に 大師はいまだ 在しますなる

安息所として発展し、一
大仏都となった。

案内人曰く「会期中で
も、今日が一番良い日です」。というのも、五月
九日は旧暦の三月二十一
日（大師入定の日）にあ
たるから。私たちがどう
してこの日に訪ねること
になったのか、その意味
を考えてみた。呼んで戴
いたのだろうか。私が、
ツアープランで確定して
いなかった五月八日出発
に固執したのは、単なる
偶然なのか。

私にとつて、一社二寺
も高野山も二度目のご縁
だが、何度行っても新し
い発見と感動に包まれる。
神仏の持つ力に敬服の思
いを新たにす。今回も、
このように貴重な年に巡
り合え、お参り出来たこ
とに感謝でいっぱい。

同行の皆さんにはいろ
いろと助けて頂きました。
有難うございました。

合掌



阿字観



総本山金剛峯寺寄りの
ご案内

ちよつと一息阿字観体
験総本山金剛峯寺では、
国内最大級の石庭、蟠龍
庭の中に建つ阿字観道場
（一般非公開）にて、
阿字観”を体験できます。
阿字観とは、真言宗にお
ける呼吸法・瞑想法です。
高野山の清らかな靈気の
中、心静かに瞑想し、忙
しい日常を離れてゆっく
りとした時間を過ごすこ
とみませんか。初めての方
でも僧侶が丁寧に指導い
たしますので、金剛峯寺
ご参拝の折にはどなたさ
まもぜひご参加ください。
日程
週4日開催（金・土・日・
月）
平成27年7月3日（金）
から11月23日（月）
金剛峯寺の行事等により、
開催の見合わせ、お時間

等を変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

時間
1日・4回実施（所要時
間 約1時間）

各回定員20名
9:30
11:30
13:30
15:30

会場
総本山金剛峯寺 阿字観
道場

阿字観体験は、金剛峯寺
内別殿販売所にて受付け
ますのでお早めにご来寺
ください。

参加費
1,000円
拝観窓口にて、別途内拝
料をお支払い下さい。
（一般500円）
予約不可。先着順と
なります。



NPO通信

来る八月八日（土）江東
区北砂町文化センターに
於きまして「サマーフェ
ステバル」に出演いたし
ます。当日は一般社団法
人 日本占術協会さまと
の協賛となります。

賛助金として先の方々
からご寄付を頂戴いたし
ました。

（敬称略・順不同）
本間喜美栄・牧野有峰

事務局だより

次回の例会
日時 九月二十六日（土）
午後一時十五分より

場所 足立区勤労福祉
会館「プルミエ」にて
（終了後懇親会を予定）

講演「動物博士のマン
モスの卵説」

（社）日本作家クラブ
会長 吉村卓三先生

六月十四日（日）
一般社団法人 日本占
術協会の総会が終了致
しました。

協会の一般社団法人の
認証及び福田有宵先生
の会長就任をお祝いす
る会も盛大に行われま
した。

五月の有宵会（夜間開催）
には四十六名の方が参加
されました。

有宵会運営のお世話を頂
いている方々（敬称略）

○『有宵会だより』の
作成・・・佐藤宗暁
久保田恵都予・山本悠
里帆・今中陽子・八川
林加・森 千紗・岩崎
紀子

○例会受付・・・岩崎紀子
八川林加

○会場取り（交代で毎月
の抽選会に出席）・・・
半田晴詠・久保田恵都
予・濱野延珠・河野有
泉・山下千津子・伊藤
璃香

○例会時の年盤・月盤
配置図担当・・・
濱野延珠

○『有宵会だより』の
例会場内配付・・・
濱野延珠・宮崎民子

○懇親会世話係・・・
久保田恵都予

○事務局・会計・・・有
宵会だより」欠席者へ
の郵送・事務局だより
とNPO通信作成、そ
の他諸々・・・伊藤璃香

以上の方々に運営して
おります。
いつもご苦勞をお掛け
いたしております。
ここにまとめて御礼申
上げます。
なおどこかでお手伝
い頂ける方がいらつしや
いましたら、お申し出
下さい。よろしくお願
い致します。
事務局長 伊藤璃香

編集後記
有宵会だよりも今
七十号を数えて
参ります。
今宵は高野山特集
号を作成いたしま
した。
山の皆様から原
稿を頂戴いたしま
して感謝致してお
ります。
皆様からのご意
見をお待ちいたし
ております。
佐藤 宗暁